

3月1日(日)、旭陵留学第13期生 伊藤智紀さん(派遣国:カナダ)が卒業しました。智紀さんからの卒業にあたってのレポートと写真をお届けします。4月からは長崎大学多文化社会学科で学ぶことになっています。

卒業を迎えるにあたって高校生活を振り返ってみると、それは「充実」という言葉以上の価値があるものだったと思います。僕の高校生活をまとめるならば、「経験」と「繋がり」が最適であると考えます。

僕は高校生活4年間、常に将来パイロットになることを軸に行動してきました。もちろん、その中の1つが旭陵留学です。旭陵留学によってカナダで過ごした1年間は、多くの新しい経験を通して自分自身を成長させるだけでなく、多くの新しい繋がりも生み、生涯の財産となりました。また、留学後は、少しでも将来の夢の実現に



航空自衛隊航空学生3次試験フライト後記念撮影



となど夢にも思っていなかったため、自分の手で操縦した時は本当に感動しました。いまだにあの時の手の感覚が残っているほど、忘れられない経験でした。(他にも挙げたい経験は山ほどあるのですが割愛させていただきます) こうした多くの経験をし、多くの人との繋がりができ、多くの思い出ができたのは、何よりも家族や友だち、先生のおかげです。本当に感謝しています。

春からは長崎での新しい生活が始まります。1年次は国際学寮で外国人留学生を含む4人1組での寮生活です。長崎という多文化が入り混じった歴史ある場所であり一層学問に励み、国際感覚を養い、「経験」と「繋がり」を大切に、将来の夢に向かって迷うことなく突き進んでいきます。

旭陵留学は、旭陵留学以上のものを僕に与えてくれました。

近づくために積極的に行動しました。例えば、JAXA エアロスペーススクールへの参加や生徒会活動です。中でも、大学受験を通して経験した大変貴重なものでした。僕は航空自衛隊のパイロットにも興味があったので、航空自衛隊のパイロットを養成する「航空学生」の採用試験を受験しました。最終試験では、T7という航空機を実際に操縦し、定められた項目をこなすものでした。まだ自動車も運転したことがない僕が航空機を操縦するこ



大好きなサッカー部と2回の卒業式